

横浜市職員の

ワークライフバランス・ポテンシャル発揮推進プログラム-拡充版-

Work-life balance ・ Potential

expanded version

通称「^{ウィー}Weプラン^{*}」を策定しました

横浜市では、「横浜市職員の女性ポテンシャル発揮・ワークライフバランス推進プログラムPlus☆」に基づき、女性職員の活躍や全職員のワークライフバランスの推進に取り組んできましたが、このたび、現行計画を継承・改定し、目標数値の引き上げ・新規設定等を行う「横浜市職員のワークライフバランス・ポテンシャル発揮推進プログラム-拡充版-」(通称:Weプラン)を策定しました。

このプランを女性活躍推進法及び次世代育成支援対策推進法に基づく横浜市の特定期間行動計画に位置付け、ワークライフバランスと性別に関わらず、すべての職員の活躍を一体として推進することで、多様な取組をこれまで以上に総合的に前進させ、「誰もが働きやすく働きがいのある組織の実現」につなげます。

※「Weプラン」とは… 計画名称に含まれる「work-life balance」の「W」と、「expand(拡充)」の「e」から抜粋、現行のWプログラム Plus☆を継承・拡充し、「私たち」全職員が取り組む計画」という意味を込めています。

Weプラン 概要

■ 名称 : 横浜市職員のワークライフバランス・ポテンシャル発揮推進プログラム-拡充版-

■ 対象期間 : 令和4年度から令和7年度までの4年間

取得を当たり前のこととするため、高い目標を設定。

■ 数値目標

	現計画 (~ 令和3年度)	現状値 (令和2年度)	次期計画 (~ 令和7年度)	
①年次休暇取得率(10日以上)	100%	80.4%	100%	
②男性職員の育児休業取得率	20%以上	24.1%	100%	↑引き上げ
③配偶者の出産のための休暇及び男性職員の育児参加休暇取得率(3日以上)	100%	87.3%	100%	
④課長級以上に占める女性割合	30%以上 (R4.4.1)	18.1% (R3.4.1)	30%以上 (R8.4.1)	
⑤女性職員の係長昇任試験受験率(A事務区分)	-	21.6% (R3年度)	50%	新規

■ 取組の方向性

① 責任職の意識改革

② ワーク・ライフ・バランスの推進

男性の受験率(令和3年度実績:53.5%)と乖離している状況を踏まえ設定

③ 仕事と家庭生活の両立支援

④ 性別にかかわらずチャレンジ・キャリア形成支援

◆URL <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/saiyo-jinji/jinji/weplan> (横浜市ホームページ)

お問合せ先

総務局人事課 制度推進担当課長 吉岡 信也 Tel 045-671-2223